

私立大学情報教育協会
平成29年度
大学職員情報化研究講習会
～基礎講習コース～報告

C-1班 赤富士



発表の流れ

- 発表テーマ
- 大学の役割と現状
- 現状の深堀から見える問題点
- このテーマを選んだ理由
- 解決策の検討
- 大学への提案
- 今後の課題
- まとめ

学生生活におけるミスマッチの解消に向けて

発表テーマ

学生生活における “ミスマッチ”の解消に向けて



大学の役割と現状

◎大学の役割とは

社会に貢献できる人材の育成，輩出を行うこと

◎大学の現状

私たちが現場で直面した一例

- ・ 学生の興味分野と学部が提供する授業内容のミスマッチ
- ・ 就職活動で周囲に流され，主体的に動けない学生
- ・ “楽に単位が取れる授業”を聞きに来る学生



現状の深掘りから見える問題点

〈現状〉

学生の興味分野と学部が提供する
授業内容のミスマッチ

〈問題点〉

- ・自分のやりたいことではないため、休学者や退学者が出る
- ・退学することで、学生の貴重な時間を無駄にしまう



〈現状〉

“単位が取れる授業”を聞きに来る学生

〈問題点〉

- ・卒業が目標
- ・その場しのぎの勉強、知識の定着が悪い
- ・大学が用意したカリキュラムによって本来備わることが期待される力が身に付かない



このテーマを選んだ理由

・**ミスマッチ**が起きると . . .

- 学習意欲の低下, 受け身な姿勢になる
- 本来大学で身につけられると期待されている力が身に付かない
- 今後の社会生活でも引き起こす可能性がある
- 大学の評価が落ちる可能性がある

こうならないために . . .

**学生生活における“ミスマッチ”を
解消する必要がある！**

解決策の検討

◎解決策として二つのアプローチ案

- ①入試前に行うアプローチ
- ②入学後に行うアプローチ



○より早い段階でのミスマッチをなくす

○入学後は“ミスマッチ”を“マッチ”へ変えることに注力する必要がある

以上の理由から私たちは、

①入試前の受験生への情報提供型アプローチについて検討した。

大学への提案①

- ・ 現在でもオープンキャンパスや出張授業等を行っているが、大学の良い面だけに目が向きがちになるという問題がある



- ・ この問題を解決する方法として以下の二点を提案する

- A. 受験生に実際の授業の映像配信を行う**
- B. 長期の大学授業体験の場を作る**

大学への提案②

- ・この2案を実現するために、どのようなアプローチが必要か
 - ・ 教員への働きかけ
 - ミスマッチが起こっているという現状を共有し、協力体制を構築する
 - ・ 職員の役割
 - 授業や教材の情報公開範囲の設定、効果的な広報戦略、情報発信プランの策定（どんな授業を誰に見せるのかなど）、実現のための課題とその打開策
- ・ 解決されたときの姿（どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか？
現状で挙げたような受け身な学生が減り、

自律的、能動的に行動できる学生が増える

．．． のではないか



今後の課題

- ・ 教員への働きかけから協力体制を構築するための具体的検討
- ・ 施策を行うための金銭的な課題

まとめ

- ・ 学生生活における“ミスマッチ”の解消に向けて
- ・ 社会に貢献できる人材の育成，輩出を行うこと
- ・ 窓口対応で見えた2つの現状
 - 興味分野と授業内容のミスマッチ
 - “単位が取れる授業”を聞きに来る学生
- ・ 学生生活における“ミスマッチ”を解消する
- ・ 受験生に向けた映像配信，長期の大学体験授業
- ・ 自律的，能動的に行動できる学生が増える